

週 報



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために



「ロータリーの原点に戻る」

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南
住所 日南市園田3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 豊田裕康

疾病予防と治療月間

第3283回例会	No.13	2021.12.01	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12時30分	「国歌」 「奉仕の理想」	
ロータリーの目的	日高章太郎 君		
例会行事	結婚・誕生者卓話		

会長時間

- 先週、南太平洋ソロモン諸島のガダルカナル島で反中国の暴動があり死者が出ているとの報道がありました。ガダルカナル島対岸のツラギ島も島ごと中国が租借して資源開発しようとし、オーストラリアが対中国で強硬路線に舵を切るきっかけとなったといわれております。ソロモン諸島は太平洋戦争中に多くの日本人が戦死した場所で、私の祖父も戦った場所になります。来週8日は真珠湾攻撃の日で、今年は80年の節目の年となりますが、祖父から聞いた従軍体験をお話したいと思います。
- 私の祖父は昭和16年の対米開戦時には妙高という巡洋艦に下っ端乗組員として乗艦していました。80年前の今日、昭和16年12月1日、トラック環礁に次ぐ南太平洋の海軍根拠地であるパラオに入港し、真珠湾攻撃に合わせてフィリピンに向かったということです。陸軍がバターン半島に立てこもるマッカーサーへの攻撃を始めた昭和17年1月、オランダ領インドネシアの攻略に向かうためミンダナオ島のダバオに艦隊が集結し停泊していました。1ヶ月の間まともな反撃がなく油断していたところに米軍の空襲があり、250キロ爆弾が妙高の前甲板に直撃して艦内で爆発しました。この爆発により60余名が死傷し祖父の兵員室の隣の人達が全員戦死され、艦自体も大破したということです。爆弾の破片で艦橋や砲塔などが穴だらけになり、木を削って穴を塞ぐ応急措置をして佐世保軍港までなんとか帰ってきたということです。
- 昭和17年4月18日、日本の本土初空襲がありました（ドーリットル空襲）。妙高はちょうど瀬戸内海に停泊していて太平洋上の敵空母探索の命令が出たのですが、瀬戸内海から紀伊水道を経て太平洋に出る場合、淡路島の北の明石海峡と南の鳴門海峡の二つの航路があり、名門海峡を航行するのが最短ルートです。ただ、鳴門の渦潮観光に行かれたことのある方は分かると思いますが、鳴門海峡は狭く複雑な海底地形で潮流が早く岩礁も多いことから、大型艦の航行は禁止されていました。妙高は満載時1万5000トン近くの大型艦ですので平時であれば鳴門海峡の航行は禁止されていましたが、敵空母が日本近海にいる緊急事態ということで鳴門海峡を航行して太平洋に出たということです。祖父は鳴門で生まれ育ったので、このとき祖父は故郷の鳴門を眼前にすることができたということです。
- 本土初空襲の翌週にはトラック環礁の連合艦隊泊地に入港し、妙高を艦隊旗艦とする空母機動部隊が編成され、パプアニューギニアのポートモレスビーの攻略に向けて出港しました。ポートモレスビー途上の珊瑚海において、米軍と空母機動部隊同士の艦隊決戦が行われたということです。祖父によると、米軍の攻撃隊は妙高が護衛していた2隻の大型空母のうちの1隻（翔鶴）を集中的に狙ってきて、全速力で回避行動をとる空母の周りには小山のような水柱が何本もたって空母が見えなくなり、何度も撃沈されたと思ったということです。そのたびに空母が水柱を突き破って出てくるという場面が何度も繰り返されたということです。全ての爆弾を回避することはできず複数の爆弾が直撃して空母は爆発炎上し、もう一隻の空母も多くの艦載機を失って戦闘不能となり、作戦中止と撤退が決まりました。真珠湾攻撃にも参加したこの2隻の大型空母が戦線離脱したことが、翌月のミッドウェー海戦での大敗の一因ともなっていたと言われております。

5 ミッドウェー作戦では、妙高は大和以下の戦艦部隊と共に空母のはるか後方に位置し、空母全滅を受けて逃げ帰ったということです。

その後ソロモン諸島のガダルカナル島を巡る消耗戦に突入したのですが、トラック環礁の連合艦隊泊地には、速力が遅くて戦闘に参加できない戦艦が複数浮かんでいたそうです。特に大和と武蔵は全く戦場にでなかったため、生きて帰れるか分からない戦場に赴く艦艇からは、大和ホテルとか武蔵屋旅館または武蔵御殿と言われていました。ただ、米軍との戦闘でボロボロになってトラック環礁に帰還した際、巨大な戦艦の威容を見ると不思議と力が湧き出て再び戦場に行く勇気がわいたそうです。そんな中、祖父は横浜海軍航空隊への転属命令を受けました。横浜海軍航空隊はラバウル基地で活動していましたが、ミッドウェー海戦の2ヶ月後に始めに申し上げたガダルカナル島対岸のツラギ島で玉砕しました。そこで横浜で再度部隊編成がされることになり、そこに祖父が転属となったということです。ちなみに、池波正太郎が戦後に語っていますが、召集令状を受け取って配属されたのが横浜市富岡の横浜海軍航空隊で、そこで池波正太郎は終戦まで電話交換手の仕事をしていたそうです。祖父は終戦まで海軍航空隊に所属していたのですが、航空隊時代の話はこれまで一度もしてくれなかったことがありません。多くの戦友を亡くし話したくない辛いことがあったのだと思います。

6 祖父は戦後海上保安官となり戦時中米軍が日本近海に大量にばら撒いた機雷の除去を行っていました。朝鮮戦争にも海上保安庁の掃海部隊が多数派遣され、戦後の機雷除去の経験とノウハウは後に発足する海上自衛隊に引き継がれ、元在でも日本の掃海技術はハイレベルであると言われていました。祖父は定年まで巡視船に乗り、私の父も海上保安官で保安学校の教官をしていたこともあり、私自身も将来護衛艦か巡視船に乗るつもりでした。しかし、私が防衛大学を受験すると聞いた祖父から電話があり、「軍人にだけはなるな」と言われ防衛大学の受験に強く反対されました。ちょうど湾岸戦争が勃発して日本がペルシャ湾の機雷除去のために掃海艇派遣を決定していたので、孫を戦場に行かせたくないということでした。結局私は防衛大学を受験しませんが、数年後に海上自衛隊のイージス艦として妙高の艦名が復活し、祖父が「わしが乗っていた船が復活した」と喜んでいたので聞くと、やはり防衛大学を受けた方がよかったかなと後悔したのを覚えています。

新型コロナウイルスの影響で2年ほど祖父に会っていませんが、数年前に祖母が99歳で亡くなった葬儀の際、祖父は天ぷらの盛り合わせを平らげるなど私より食欲があり、まだまだ胃腸が丈夫で長生きしそうです。本当に昔の人間は頑丈だと思ったことを記憶しております。

皆様も多くの戦争体験を聞いてきたことと思いますが、そろそろ戦争体験を語れる方が少なくなってきましたので、平和の大切さを改めて考えるきっかけに、来週12月8日をしていただければと思います。

幹事報告

- 1) 振徳高等学校より、振徳通信が届いております。
- 2) 振徳高校バレーボール部全国大会出場の出場金の件・・・1万円
- 3) 守永君出席規定免除により井野畑善順君を本日より親睦委員長とする。

委員会報告

IM実行委員会 2月5日のIMの出席要請と懇親会の案内

親睦委員会 12月8日忘年会の出席要請

誕生者 村上賀昭君(1941) 菊池希樹君(1965) 入中英雄君(1966) 宮田健司君(1965)

峰松俊夫君 コロナウィルスオミクロンのお話

スマイル

- 日高章太郎君 1. 日南中央RCのガバナー公式訪問をつつがなく済ませました。
2. ロータリークラブ入会以来、初めて、先月ひと月欠席しました。

例会行事 結婚・誕生者卓話

入中英雄君(誕生)

今日は誕生月ということで、55歳になります。

毎年なんの話をしようかと頭を悩ます月でもあります。ふと思いついて自分の誕生日を検索してみたら興味深い記念日があったのでその話をさせていただきます。



いくつかあった記念日のなかで『双子の日』というものがありません。みなさんは双子の兄弟姉妹でどちらが兄、姉でどちらが弟、妹かご存じですか？私は、この記事を読むまで、先に生まれた方が下の子で後に生まれた子が上の子だと思っていました。しかし、1874年(明治7年)の12月13日に「双子の場合は、先に生まれた方を兄・姉とする」という太政官指令が出されました。それまでは、「兄、姉ならば先に母体の中に入ったので奥にいるはずであり後から出てくるはず。」「弟、妹が兄、姉を守るために、先に露払いとして出てくる。」などの考え方が、特に地方や慣習で江戸時代から明治時代初期にあったためと言われています。

さらに調べると、それまではどのようにして長子が決まっていたのかということ、驚いたことに、どちらを長子にするべきという明確な基準はなかったそうです。したがって、それまでは地域や家庭やその場の雰囲気等で双子の人生が大きく分かれていたのかもしれない。

生まれた時間が数分の差で長子かそうでないかが決まってしまうのは当事者にとっては大きな問題になるのでしょうか。

また、多胎児出産は帝王切開によって出産が行われた場合に、医師が最初に取り上げた方が長子になるのでしょうか。いずれにしても、現在は戸籍法により、出生届出・出生証明書に生まれた順で記載することが定められています。

双子は受精時の受精卵の数により、一卵性双生児と二卵性双生児に大別されます。一卵性双生児は、一つの受精卵が分裂して生まれます。二卵性双生児は何らかの原因によって二つの卵子が排出され、それぞれが別の精子と受精して生まれます。古来より人種に関係なく、1,000組に4組の割合で一卵性双生児が誕生します。

一方で二卵性双生児の出生頻度は人種間・地域間・民族間の違いが大きいとされています。双生児の出生頻度から見ると、一卵性双生児が誕生する際の分裂の発生に、何らかの遺伝的要素が関係する可能性も近年では指摘されています。

関連する記念日として、語呂合わせで2月5日も『ふたごの日』となっています。

余談ですが、妻の生まれた日を調べたところ、高知県安芸市にかなり大きな台風が上陸した日でした。室戸岬で最大瞬間風速77.1m/Sを観測するなど、風の影響が大きく、家屋の倒壊や高潮による浸水などの被害が発生したようです。

妻の性格がこの台風の日生まれたからなのかどうかはわかりません。ここだけの話にしておいて頂けると幸いです。

宮田健司君(誕生)



国の「2050年カーボンニュートラル」宣言を契機に、宮崎県は、令和3年3月に策定した第四次宮崎県環境基本計画の重点プロジェクトに「2050年ゼロカーボン社会づくり」を掲げ、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことを表明しました。

また、県内では、2020年12月に串間市が「ゼロカーボンシティ宣言」表明し、その後宮崎市、都農町、五ヶ瀬町の4つの自治体が既にゼロカーボンシティを表明しております。

九州電力グループとしては、今年4月に「九電グループカーボンニュートラルビジョン2050」を策定しましたので、その概要についてご説明させていただきます。

資料は、プレスリリース本文と説明資料を準備しておりますの参考によりしくお願いいたします。

九電グループは、2019年6月に策定した「九電グループ経営ビジョン2030」のもと、低炭素で持続可能な社会の実現に向けて、再生可能エネルギー・原子力の活用による電源の低炭素化や電化の推進に取り組んでまいりました。当社のゼロエミッション・FIT電源比率^(注)(2019年度)は約6割であり、国内のトップランナーです。(注) FIT電気は非化石証書を使用していない場合、再生可能エネルギーとしての価値やCO2ゼロエミッション電源としての価値は有さず、火力電源などを含めた全国平均の電気のCO2排出量を持った電気として扱われます。2019年度の比率は14%です。

なお、国の2030年度温室効果ガス削減目標46%(2013年度比)に対し、当社のCO2削減量(2019年度)は約50%となっています。また、国の「2050年カーボンニュートラル」の宣言を背景に、企業に対する脱炭素への取り組みやESG(環境・社会・ガバナンス)経営の推進への期待が高まっています。こうした状況を踏まえ、

九電グループは、カーボンニュートラルの実現に挑戦することを宣言し、エネルギー需給両面の取組みとして「電源の低・脱炭素化」と「電化の推進」を加速させるため、「九電グループカーボンニュートラルビジョン2050」を策定しました。

2050年カーボンニュートラル宣言九電グループは、2050年のカーボンニュートラルの実現に挑戦します～九州から日本の脱炭素をリードする企業グループを目指して～カーボンニュートラルに向けた取組み電源の低・脱炭素化ゼロエミッション電源比率を更に高めるなど、CO2排出「実質ゼロ」の電気を安定的に供給します電化の推進最大限の電化に挑戦し、需要側のCO2排出削減に貢献します。加えて、カーボンニュートラルを含めたESGに関する取組みを推進するため、2021年7月に、社長を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を設置します。九電グループは、地球温暖化への対応を企業成長のチャンスと捉え、これからも、低・脱炭素のトップランナーとして、九州から日本の脱炭素をリードする企業グループを目指してまいります。

国の「2050年カーボンニュートラル」宣言を契機に、多数の企業が独自の目標を公表するなど、カーボンニュートラル実現に向けた社会全体の取組みが活性化する中、九電グループとしても、極めてチャレンジングな目標の達成に、公益事業を担うエネルギー事業者として最大限貢献していきたいとの思いで取り組んでいきます。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今週	32	9	23	17	2	4	19	82.60%
出席免除	落丸、村上、清水、渡邊、山口、甲斐、古澤、守永、小玉							
先取MU	榎木田、菊池							
欠席	石崎、石灘、斉藤、齋藤(奈)							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：豊田裕康 副会長：入中英雄 幹事：築瀬敦 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。